



西脇小学校木造校舎が国重要文化財に

昭和初期に建設された西脇小学校の木造校舎3棟が、国の重要文化財に指定されることになりました。「簡素ながら上品な洋風基調の意匠でまとめられている。現在では希少となった現役の戦前に建築された木造校舎として重要な建物」と評価され、木造校舎3棟の付属物として、渡り廊下と便所、正門も合わせて指定されます。校舎は建設から80年以上が経過しており、令和元年には、耐震補強やバリアフリーなどの保存改修工事が完了。現役の小学校の校舎が重要文化財に指定されるのは全国3例目で、県内初です。

片山市長は「母校が歴史的に評価されたことは、卒業生の一人としても大変誇りに思う。これまで関わっていただいた関係者の皆さまに感謝したい」と喜びの言葉を述べました。[5月21日]



ポイントで図書購入

西脇エコ・健康ポイント制度の昨年度の参加者から寄付されたポイント（約2万8千円相当）で、環境や健康に関する図書20冊を購入。図書は図書館で貸し出しており、6月20日まで館内に特設コーナーを設けています。[図書館]



弓の名手しのぶ

源頼政をしのぶ「頼政祭」で、参列者が供養塔を参拝し、線香を手向けました。境内には、宝刀「獅子王」の写し刀などを展示。新型コロナの影響で、規模を縮小して行われました。[4月29日、長明寺]



半世紀の歴史に幕

新庁舎への移転を前に、最後の業務を終えた旧庁舎で閉庁式を挙行。53年の長きにわたり、市民の皆さまに愛され、親しまれた庁舎に、片山市長が別れと感謝の言葉を述べました。



西脇市新庁舎がオープン 一市の新しい交流拠点に

市庁舎・市民交流施設オリナスの開所式で、片山市長ら関係者がテープカットとくす玉割りで新しい拠点の門出を祝いました。

オリナスは「暮らしに身近で、誰もが使いやすい」をコンセプトに、令和元年9月に着工。鉄骨・鉄筋コンクリート造りの地上4階建て、延べ面積約1万3千平方メートルで、市庁舎のほか、ホールやスタジオがある市民交流施設、西脇市多可郡医師会などが入る健康福祉連携施設で構成される複合施設です。

開所式で片山市長は「地域全体を利便性が高く、にぎわいを創出するエリアにし、その効果を市域全体に波及させたい」とあいさつ。「オリナスを拠点に、新たな歴史を市民の皆さんと刻んでいきたい」と決意を述べました。[5月6日、市庁舎・市民交流施設オリナス]



ワクチン予約サポート窓口開設

75歳以上を対象としたワクチン集団接種の予約開始に合わせ、市内7カ所で予約サポート窓口を開設。電話での予約が混み合うことが予測される中、3日間で1,500人を超える市民が窓口で予約手続きを済ませました。6月に開始する65歳以上を対象にした予約受け付けでも、サポート窓口を開設します。[5月3～5日、市内]



市民向けワクチン集団接種開始

75歳以上を対象にした新型コロナウイルスワクチンの集団接種を開始。初日は事前に予約した120人が会場を訪れ、1回目の接種を終えました。集団接種は西脇市多可郡医師会などの協力を得て実施。医師による問診の後、看護師がワクチン注射を打ちました。[5月17日、天神池スポーツセンター]